

認証年度: 令和2(2020)年度

金属製品



しんわ こうぎょう
神和アルミ工業株式会社



〒321-4346

栃木県真岡市松山町11-1

<https://www.shinwa-al.co.jp/>

JR石橋駅から車で15分、真岡ICから4km

お問い合わせ先

0285-82-9121

0285-84-6915

Email: information@shinwa-al.co.jp



ここがセールスポイント アルミ板材料の調達から切断、機械加工まで一元化できます。

フットワークを生かしたアルミ材料の販売、最大620mm、最小0.1mm厚を可能とする切断技術、5軸、5面加工を得意とし最大4m×8mの大きさを可能とする機械加工技術を持ち合わせています。

会社概要

代表者名 神保 宗博

資本金 1,000万円

年商 35億円

従業員数 165名(パート含む)

設立 昭和50年

取得規格 JISQ9100、ISO14001

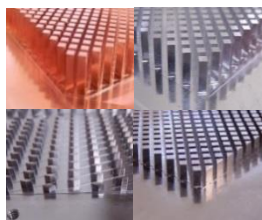
主な拠点・主要取引先

拠点: 本社、本社・北・長田工場(真岡市)、営業所(真岡市、太田市、水戸市)
取引先: (株)神戸製鋼所真岡製造所、大
安製造所、(株)SUBARU宇都宮製作所、
(株)UACJ、神鋼商事(株)、三菱電機(株)

事業内容

アルミ切板販売
アルミ・チタン板材の切断、機械加工

わが社の《水冷型ヒートシンク量産技術》にはこんな特徴があります！



量産ヒートシンク

当社の量産型水冷型ヒートシンクは、切削性に優れたダイヤモンド工具を用いた機械加工ラインにより冷却ピンを成形し、電装部品として重要な異物混入を防止するための切粉・バリ除去を独自の洗浄ラインで行っています。

また、水冷式に対応したジャケット組立ライン、画像寸法検査及びリーク試験を用いた検査システムによる品質保証体制で、自動車分野に採用されている。



代表取締役社長
神保 宗博

社長からのメッセージ

当社は、自動車パネル材の切断事業、液晶半導体の製造装置・自動車電装部品の機械加工事業、航空機用材料の切断・機械加工事業を主体に、船舶・車両、さらには新規用途の開発及び実用化を進めています。また、未知の課題に応えられるソリューションを視野に入れた”高品質”なものづくりを目指す、日々の研鑽も忘れません。

それは、人々の夢を実現する社会の発展に貢献すること。私たちは、夢を形にできる、”社会品質のものづくり”への可能性に挑戦し続けます。

その他にもこんなものを造っています！

ウォータージェットによるチタン材の切断も行っています。
造形技術の構築を目指し3Dスキャン、プリンターを導入。

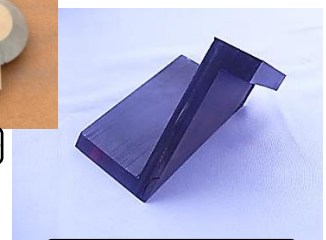
当社では、航空機部品に広く用いられているチタン材料を5軸ウォータージェット装置で定寸切断しています。

特徴として、チタン材のような高硬度の材料切断が可能であり、5軸ならではの形状に合わせた切断が出来るので、余材が削減され効率の良い材料取りが出来るので、アルミ材料での切断にも活かされています。

今後も、ウォータージェット切断の特徴を活かした切断技術の向上に取り組んで参ります。



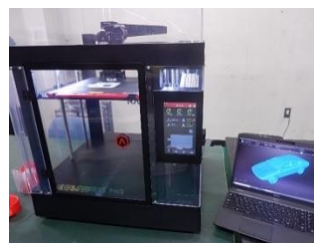
アルミ材の効率切断



チタン材の异形切断

また、当社では航空機部品加工で培った3次元加工を得意としており、その切削技術だけでなく造形技術への取り組みを始めました。まずは、3Dプリンターとしては樹脂用ではありませんが、造形技術への一歩を進めております。また、3Dスキャナーも合わせて導入しましたので、実物形状の再現が可能です。

今後も、切削技術に限らず世の中のニーズに合わせた技術開発に取り組んで参ります。



3Dプリンター装置



イチゴ造形品